



民主党号外

《墨田区版》

2004年5月

民主党広報・宣伝委員会  
東京都千代田区永田町1-11-1  
電話 03-3595-9988 (代表)



## あべきみこ活動 REPORT

あべきみこ事務所

〒131-0043  
墨田区立花4-1-8  
Tel.03-3610-0777  
★URL: <http://www.abekimi.net>  
★e-mail: [abekimi@abekimi.net](mailto:abekimi@abekimi.net)

昨年4月の統一自治体選挙で皆様のご支援を頂き区政に参画させていただいて早くも、2年目を迎えようとしています。議員1年目で仕事も環境も変わってしまった中、今日まで前向きに頑張ることが出来ました。これも皆様の暖かいご支援に支えられたおかげです。

昨年11月に議会で質問させていただいた件もいくつか今年度の予算に組み込むことができました。今回の活動レポートは4月までの議会での活動と、最近のあべきみこ後援会『墨田げんき応援団』の活動を報告させていただきます。

今後も、皆様とお約束しました『子育て支援・高齢者福祉の充実』の公約実現のため更に全力投球して参ります。また日頃、皆様が感じていることやご意見がございましたら是非ご連絡下さい。これからの活動の参考にさせていただき、墨田区が少しでも住みやすい街になるよう取り組んで参ります。

### Action1. 委員会活動

あべきみこは昨年5月の臨時議会で、区民文教常任委員と都市開発交通対策特別委員に任命されました。

区民文教委員会では私も子育て中ということもあり、お母さん方から直接ご意見を伺うことも多く、そのうち質問し特に改善されたいいくつかを報告させていただきます。

#### 1、学校給食のセンター化とランチルーム設置

『給食をセンター化してもランチルームが設置されていない。公立の学校で不公平でないか』というご意見を頂き、調べたところセンター化されてもランチルームが設置されていない学校が2校ありました。当初は、教室数が足りないとの回答でしたが、平成16年度中には2校ともランチルームが設置されることになりました。

#### 2、野外体験学習での適切な引率者の配置

野外体験学習では『引率の先生の数が少なく心配。』とのお話を頂き、委員会で質問したところ、児童数に対してではなくクラス数で引率者が配置されていましたが、生徒数に見合った配置を提案したところ、区教委と学校側の配慮で外部講師を一人つけることができました。

#### 3、学校選択制度に伴い一部の学校の小規模化

学校選択制度については平成9年度に策定された『墨田区立学校適正配置実施計画』の第3順位グループとして位置付けた隅田小学校と隅田第二小学校が統合され、平成17年度に墨田小学校が設置されます。今後は少子化や学校選択制で生徒数が減少し、小規模化してしまった学校をどのようにするか等の課題も含めて引き続き取り組んでいきたいと考えています。

都市開発交通対策特別委員会では、①曳舟駅前地区第一種市街地再開発事業に係る都市計画の変更、②京成曳舟駅前東地区再開発事業について、これまでの経過と今後の予定について審議が行われ、また錦糸公園及び体育館の改修工事についての報告があり、これら進行状況について審議されました。

特に、錦糸公園では駅前利用者の駐輪場として自転車が放置されています。公園利用者の駐輪場の確保と、放置自転車について今後事業の中で対策をしてもらえるよう発言して参りました。

この事業によって墨田区が住みやすく、快適な街になるよう今後取り組んで参ります。

## Action2 議会活動

### 問1：

待機児童が増え続く中、延長保育の実施は区立27園中10園しかなく、入所しても働き続けることが困難な場合もある。重要なのは保育の質である。あおやぎ保育園の保護者は、民間委託による保育の質、子ども達への影響がどのようになるのか、また、園児、園舎、先生が変わる中で全ての子どもが順応できるか心配している。先生の引継ぎ期間が1ヶ月で十分なのか。保護者は民間委託への不安が多いようだが、このような問題をどう考えているか。

保育所を地域の子育て支援センターとして活用することが始まっており、本区も取り組むべき。子育てに悩むお母さんにはいつでも気軽に相談できる体制が必要であり、駆け込み寺になり得る施設を検討すべき。

待機児童の解消、多様な保育ニーズに応えられる保育体制の確立、子育て中の親への支援等の充実をどう考えているか。

### 答：1

緊急対策として、区立保育園の施設整備により定数の増加を図る。また、分園や認証保育所等の設置を検討していく。

様々な保育ニーズに対応するため、延長保育の拡充も含め、あおやぎ保育園で実施する特別保育についても、実績を踏まえ拡充を図る。委託先は保育の質に十分配慮し、実績を持つ厚生館を選定した。現在と同等の質の高い保育が継続できると考える。引継ぎ期間の延長等、様々な形で連携を深め保育を引き継いでいく。今後も保護者に理解いただき、不安解消に努める。

将来的には、子育て総合支援センター設置に向け準備を進めるが、保育所を地域の子育て支援センターとして活用することも重要である。児童館で進めているフレンド

リー計画における子育て支援センター事業等の充実に加え、保育園でも役割が果たせるよう、地域への開放事業を行っていききたい。

### 問：2

特養ホームは入所困難、医療的介護者は不足しており、お年寄りや家族が安心して暮らせるような体制をとることが必要。

ヘルパー等の介護専門職は、低額報酬で身分等も安定しない雇用が増えている。介護者が安心して働けない職場では、利用者も安心して介護を任せられない。特養ホーム等の待機者解消はもとより、介護人

材の確保・育成をどのように考え、対策を講じているのか。

### 答：2

入所可能までの間、在宅介護支援センター等の相談能力の向上、ケアプラン見直しや老人保健施設等の活用で在宅介護の支援強化を図る。ショートステイは17年度以降利用しやすくなる。

ヘルパーの質向上は大変重要な課題である。訪問介護事業者を組織化し、研修の体系化を働きかけており、また事業者には労働関係法規の遵守を指導し、安定的就業確保のために協力を求めている。

### 問：3

母子家庭の母の就業支援に関する特別措置法に対する区の認識と取り組みは。

### 答：3

就業支援対策は重要課題。自立促進計画を次世代育成支援対策推進法行動計画中で行う。

### 問：4

街の変化を認識し、区に住む人、訪れた人がわかりやすい公共サインに見直しを。

### 答：4

公共サインの趣旨を踏まえ、案内サインの掲出施設を見直し、必要に応じて改善したい。

(本文は区議会だよりから掲載)

11月の定例会で質問させていただきました。そのうち実現したものや、平成16年度に予算に組み入れることができましたものです。

- ①あおやぎ保育園での当初1ヵ月だった引継ぎ期間を2ヵ月半に延長。
- ②待機児童の解消として、指定管理者制度を導入するあおやぎ保育園で受け入れ児童(20人)を増やすことと、現在の区立保育園の施設を整備し受け入れ児童(73人)の増加を図る。
- ③新規事業として『母子家庭の就労支援』として母子家庭等の自立支援給付金を支給。
- ④今まで公共サインに掲載されていなかった学校が必要に応じて設置する。

### Action3. 意見書

#### 意見書について

平成16年度の第1回定例会で、私が所属します「民主クラブ」から以下の6件の意見書を提出しましたが、賛成を得ることが出来ず、すべて不採択となりました。

- (1) 安定した公的年金制度の  
確立等に関する意見書
- (2) 地域における雇用対策の  
拡充強化を求める意見書
- (3) 中小企業・商店街対策の推進および  
小企業向け金融対策に関する意見書
- (4) 「イラク特措法」に基づく  
イラクへの自衛隊派遣に反対する意見書
- (5) 「配偶者からの暴力の防止に関する法」の  
改正を求める意見書
- (6) 国から地方への税源移譲に関する意見書

※意見書の内容はホームページに掲載してあります。

特に年金改革については皆さんの関心も深いことだと思います。すでに都議会でも同趣旨の意見書が採択されていますので、その経緯を含めて墨田区議会でも採択していただけるよう働きかけをしましたが、残念ながら不採択となりました。



また、情報労連・NTT労働組合の組織内議員であります、民主党の内藤正光参議院議員も社会保障制度の見直しを訴え、特に年金制度の改正については、誰もが安心できる年金制度の確立に向け全力で取り組んでいますので、皆様にはご理解・ご協力を頂き「内藤正光」さんの支援の輪を広げていただくことをお願い致します。

### Action4. 応援しています



内藤正光参議院議員は3月16日の参議院予算委員会で国民年金保険料の未払い対策で政府を追及、小泉総理大臣からは「いいヒントを貰った、しっかり関係省庁に指示していきたい」という、野党に対して異例の前向きな答弁を引き出すことができました。

この質問をきっかけに、社会保険庁の保険料未納者リストが国税庁に事前に渡され、確定申告の際のチェックが確実にできるようになりました。

これからも、誰もが信頼できる年金制度の確立に向け、全力で頑張っ参ります。

未納者は社会保険庁によると約1,000万人。そのうちの4割の人は、418万円以上の所得を得ています。この不払いのツケがまじめな納付者や厚生年金に押し付けられている実態があります。

給与所得者以外は年度末に確定申告を行いますが、各種保険料控除の申請に際して何故か国民年金の支払証明書の提出は求められていません。これを逆手に、実際には保険料を納めていないにも関わらず、控除申請して還付を受けている人がいることが分かっています。

### プロフィール

#### 参議院議員 内藤正光



- 1964年 愛知県生まれ
- 1986年 東京大学理学部卒
- 1988年 NTT入社
- 1998年 参議院議員初当選
- 2003年 統一地方選挙(墨田区)  
あべきみこ選挙対策委員長

民主党 参議院比例区選出  
HP:<http://www.mnaito.com/>



## Action5. 後援会活動



あべきみこ後援会では後援会事務所にて地域の皆様との交流の場として講習会や勉強会等を開催しています。興味のある方は是非ご参加ください。

5月には初心者向けのパソコン講習会を企画しています。日程については事務所前のポスターやあべきみこのホームページにてお知らせしていきます。講師は私がしますので参加費は実費のみいただきます。(事前申込み要)

また、お友達やお知合い2～3人以上のグループでお申し込みいただければ個別でも企画いたします。

3月23日に『はぎれを使ったぞうり』をつくりました。講習会には講師の方を含めて10人の方に参加していただきました。自分の好みのはぎれでぞうりを織って、それに合った鼻緒を付けます。出来具合は、左右大きさの違ってしまった人、最後まで終わらなかった人、様々でしたが、和気藹々の雰囲気の中講習会が終了しました。



## Action6. 民主党活動

4月9日に民主党第14総支部の常任幹事会が開催されました。参加者は井上和雄衆議院議員をはじめ6人のメンバーで行われました。

井上衆議院議員から予算委員会での国政報告・イラク人質問題についてお話を頂いた後、今後の参議院選挙を含めた第14総支部の活動や、2004年度の民主党大躍進パーティと党员・サポーターの募集について話し合いました。



### 民主党 党员・サポーター募集中!

党費は年間6,000円で、党代表選挙で投票できるほか、民主党機関誌(「プレス民主」、「民主号外東京版」)の送付をはじめ、各種イベント情報などを提供いたします。またサポーターの会費は年間2,000円で党代表選挙に投票できるほか、党で主催する講演会や勉強会、イベント、選挙ボランティアに参加できます。

お問い合わせ等は、あべきみこ事務所まで。

ただ今、あべきみこ後援会「墨田げんき応援団」への参加を大募集しています。後援会にご加入いただき、「あべきみこ」と一緒に『元気なすみだ』をつくりましょう。

### ★問い合わせ先★

〒131-0043東京都墨田区立花4-1-8  
TEL: 03-3610-0777 fax: 3610-0770  
mail: abekimi@abekimi.net

### あべきみこ事務所(後援会)案内図

